

2024年7月12日

一般社団法人関西イノベーションセンター

## 会員制オープンイノベーション施設「MUIC Kansai」の事業拡大について

一般社団法人関西イノベーションセンター（理事長 <sup>そうとめ</sup> 早乙女 <sup>みのる</sup> 実、以下 MUIC）は、2021年2月に大阪・淀屋橋に設立した会員制オープンイノベーション施設「MUIC Kansai」（以下、当施設）について、当初2025年4月の大阪・関西万博を運営期限としていましたが、万博後のレガシーを形成すべく事業期間を延長し、事業テーマについても従来の「観光・インバウンド」から関連領域まで拡大いたします。

当施設は、共創スペースの提供を主とするイノベーション施設とは異なり、「社会課題解決」に繋がる具体的なプログラムの社会実装支援を通じて新産業育成、地域経済活性化を目指して活動しております。特定企業の利益に偏らない一般社団法人としての特徴も活かしながら、協賛・賛助会員企業・業界団体を始め、スタートアップ企業（以下 SU）、地方公共団体、大学研究機関など、「観光による地域経済活性化」に共感する多数のビジネスパートナーと新規ビジネス創出に取り組んでまいりました。現在まで、事業化候補となるプログラムの起案は累計100件にのぼり、マスコミ報道含めた関西エリアでの知名度も徐々に向上しています。

今後当施設は、より包括的なSU支援体制を構築し、関西SUエコシステムのハブ組織となることを目指します。また大企業とSU連携による「社会課題解決モデル」を全国に広げ、万博レガシーの社会実装プラットフォームの一つとして社会に貢献して参ります。

### 【主な新旧比較】

	現組織	新組織
事業目的	観光・インバウンドをテーマに新規事業創出を促進し、成長企業の育成にも貢献	大企業×SUでの「社会課題解決モデル」を全国に展開、SU支援基盤を関西に構築
取組意義	大企業×SUでのイノベーション創出モデルを構築し、関西地域・経済を活性化	全国の課題解決に貢献、関西SUエコシステムを通じグローバル規模のSU輩出
事業エリア	関西2府8県	関西地域を基盤に、関東・東海他に展開
テーマ	観光・インバウンド	同左を軸に、周辺領域からテーマを拡大
活動内容	イノベティブな新事業の実証実験、実装（事業化）の支援	同左に加え、海外進出・出口戦略（大企業によるM&A、CVC <sup>[1]</sup> 等による出資他）を含め、SUの事業拡大を包括的に支援

[1] コーポレートベンチャーキャピタル。事業会社が自己資金でファンドを組成し、ベンチャー企業に出資を行うこと

以上

(照会先)

一般社団法人 関西イノベーションセンター 070-2470-8923